

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2021年12月6日に第29期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第29期末 (2021年12月6日)

基準価額	13,881円
純資産総額	10,660百万円
第29期	
騰落率	7.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

# SBIインド&ベトナム株ファンド

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第29期(決算日：2021年12月6日)

作成対象期間 (2021年6月5日～2021年12月6日)

 **SBI Asset Management**

**SBIアセットマネジメント株式会社**

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2021年6月5日～2021年12月6日)



期 首：12,950円

期 末：13,881円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰 落 率： 7.2%

(注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2021年6月4日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## ○基準価額の主な変動要因

## 【基準価額の上昇要因】

- ・ 8月ごろから10月半ばにかけて、内外投資家の資金流入を受けてインド株式が買われたこと。
- ・ 8月ごろから11月にかけて、内外からの資金流入を受けてベトナム株式が買われたこと。
- ・ 期首から11月末にかけて安定した国際収支を背景に、通貨ドンが対米ドルで概ね堅調に推移したこと。

## 【基準価額の下落要因】

- ・ 10月中旬以降、インフレ上昇懸念やFRB（米連邦準備制度理事会）のテーパリング（量的緩和の縮小）開始観測などから、インド株式市場が調整傾向となったこと。
- ・ 7月上中旬に、新型コロナウイルスの感染急拡大を背景にベトナム株式市場が急落したこと。
- ・ 期初から、8月下旬を除いて（FRB議長の発言により米金融緩和長期化観測が強まると一時的にルピー一高に振れました）、インフレ率の上昇傾向、赤字に振れやすい経常収支などを背景に、概ねルピー安米ドル高傾向が続いたこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2021年6月5日～2021年12月6日)

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	153	1.115	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 93)	(0.680)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 53)	(0.390)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 6)	(0.045)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.045	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
( 株 式 )	( 6)	(0.045)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.021	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
( 株 式 )	( 3)	(0.021)	
(d) そ の 他 費 用	51	0.373	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 8)	(0.057)	保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 42)	(0.306)	インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	213	1.554	
期中の平均基準価額は13,680円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

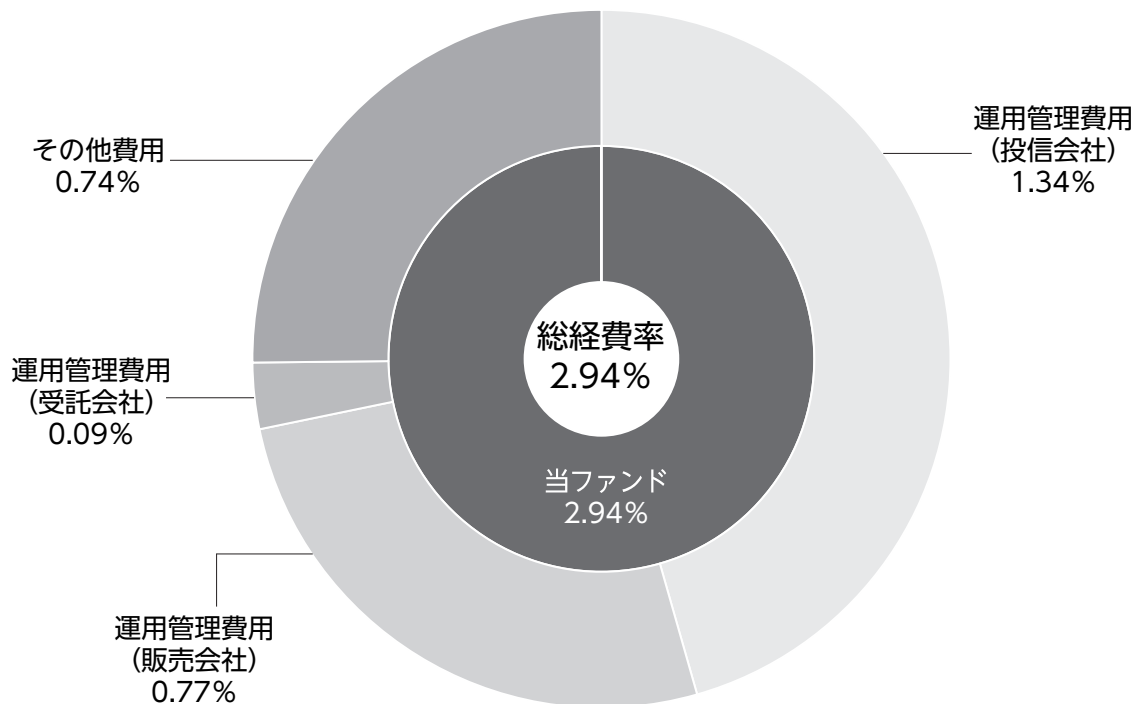
(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.94%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2016年12月5日～2021年12月6日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
(注3) 分配金再投資基準価額は、2016年12月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2016年12月5日 決算日	2017年12月4日 決算日	2018年12月4日 決算日	2019年12月4日 決算日	2020年12月4日 決算日	2021年12月6日 決算日
基準価額 (円)	8,336	11,182	10,592	10,416	10,249	13,881
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	34.1	△ 5.3	△ 1.7	△ 1.6	35.4
SENSEX指数騰落率 (%)	—	31.1	1.6	5.3	2.5	37.5
VN指数騰落率 (%)	—	44.4	△ 2.9	△ 3.9	2.4	57.3
純資産総額 (百万円)	8,608	10,372	9,641	9,138	8,650	10,660

(注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として、インドではSENSEX指数\*、ベトナムではVN指数\*を記載しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

※各指数は円建て

## ●代表的な指数に関して

- ・SENSEX指数は、インドのムンバイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する30銘柄で構成された時価総額加重平均指数のことで、インド株式市場の代表的な株価指数です。
- ・VN指数は、ベトナムの最大都市ホーチミンにあるホーチミン証券取引所に上場の全銘柄から構成される時価総額加重平均指数のことで、ベトナム株式市場の代表的な株価指数です。

**投資環境**

(2021年6月5日～2021年12月6日)

**○インド株式市場**

当期のインド株式市場は、5月初旬に新型コロナウイルスの感染再拡大がピークアウトした後の株価上昇期に始まりました。海外投資家が買越す中、最高値を更新しました。7月は、新型コロナウイルスに対抗するワクチン接種率の低さなどが懸念され史上最高値圏での横ばいの動きとなりました。8月は新型コロナウイルス新規感染者数が抑制される中、4～6月期決算がソフトウェアをはじめ好調であったことや国内投資家の旺盛な投資意欲などをを受けて上昇しました。9月は、順調なワクチン接種の拡大やネット関連企業のIPO（新規上市）などが好感され資金が流入するなか高値更新を続けました。10月は、7～9月決算が発表されるなか、銀行などの好決算を背景に中旬にかけて上昇しましたが、中旬以降、インフレ上昇懸念やFRB（米連邦準備制度理事会）のテーパリング（量的緩和の縮小）開始観測などから米長期国債利回りが上昇するなか調整傾向となりました。11月に、銀行の好決算などから堅調な推移が続きましたが、18日にインド最大規模のIPOとなった電子決済サービス会社を運営するOne97Communications Ltd.の株式が上場初日に大幅安となるなど市場心理の悪化や利益確定売りが見られ調整傾向となり、オミクロン変異株出現に対する世界的なリスク回避の動きや米FRBのインフレに対抗した引締め前倒し観測の高まりなどから下落しました。12月に入り、不透明な市場環境ながらやや値を戻し引けました。通貨ルピーは、期首からFRBの金融正常化への動きを警戒する動きから対米ドルで下落傾向となりました。しかしながら、8月下旬にFRB議長の発言により米金融緩和長期化観測が強まると一時的にルピー高に振れました。その後、再びFRBの金融引き締めへの転換観測が強まるとルピー安基調に戻りました。10月半ば以降、世界的に金融正常化観測が強まる中、一時的に、インド景気の回復継続、インフレの抑制などからルピー高傾向となりました。しかしながら、11月初のFOMC（米連邦準備制度理事会）でテーパリング開始が決定されると再びルピー安傾向となり、当期を終えました。

**○ベトナム株式市場**

当期のベトナム株式市場は、期初、6月は年初来の上昇基調を続けました。7月に入って新型コロナウイルスの感染急拡大を受けて下落しました。しかしながら、7月後半から海外資金の流入などに支えられて下落から上昇に転じました。その後、8月に入って新型コロナウイルスの感染再拡大が止まらず、売り材料となり上値の重い動きが続きましたが、良好なファンダメンタルズに期待する買いも見られました。8月下旬頃から新型コロナウイルスの感染再拡大にピークアウトが見られ、行動制限が緩和されたことから次第に上昇傾向となりました。10月に入って、経済正常化や政府の景気支援策への期待から大きく上昇しました。11月には、再び新型コロナウイルスの感染再拡大が始まりましたが、政府のウィズコロナ政策による限定的な行動制限や景気支援策への期待に加えて国内投資家の買いに中小型株中心に下旬にかけて上昇基調を続けました。しかしながら、11月末を前に、世界的なオミクロン変異株のニュースを受けたリスク回避の動きや米FRBによるテーパリング加速と利上げ開始時期の前倒し懸念などから調整傾向となり、当期を終えました。通貨ドンに対する対米ドルレートは、期初、経常収支赤字などから、前期に続いて7月にかけて比較的安定して推移しました。8月以降海外からの資金流入などから上昇しました。9月から10月にかけても横ばいながら堅調に推移しました。その後、対米ドルで11月にドン高に推移しましたが、11月中旬以降世界的なリスク回避的な動きなどから、ややドン安米ドル高に振れて引けました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2021年6月5日～2021年12月6日)

**<当ファンド>**

「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」といった各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

**<ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>**

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は97.7%となっております。

**<LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>**

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は97.0%となっております。

**<SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>**

インドの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は96.9%となっております。

**<SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>**

ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性及び流動性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式等の組入比率に関しては、おおむね95%以上の組入比率を維持しました。期末の株式等の組入比率は96.5%となっております。

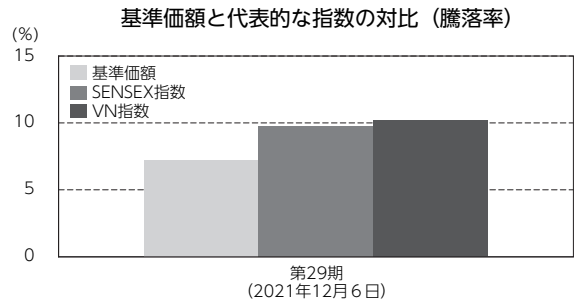
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年6月5日～2021年12月6日)

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドではSENSEX指数\*、ベトナムではVN指数\*を記載しております。

※各指数は円建て



## 分配金

(2021年6月5日～2021年12月6日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第29期
	2021年6月5日～ 2021年12月6日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,277

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税込み）と一致しない場合があります。



## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」の各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ってまいります。

### <ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドは以下のようにコメントしています。

インド株式は年初来、他の新興国市場の多くをアウトパフォームしており、バリュエーションが高くなっています。インド市場では、コロナショック以降、中小型株のパフォーマンスが大型株を上回る傾向が見られましたが、足許是正されてきており、歴史的に見て平均的な水準になってきております。バリュエーションが高まっているため、今後の上昇には一段の利益成長が必須となっております。私どもはこの点、強気です。景気底入れによりGDPに対する企業の収益率は上昇傾向にあり、向こう数年は利益成長の伸びが期待されます。企業利益の上昇期の初期段階に位置していると考えております。目先の主要なリスクは市場心理の過熱であり、高値警戒感による短期的な下落リスクです。しかし、株価下落に際し景気回復の恩恵を受ける株式の追加組入れをお薦めします。

### <LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドは以下のようにコメントしています。

世界5位の経済大国であるインドは、一人あたりGDPが2,000ドル台と真の新興国です。民主主義の強い伝統、効率的な政策決定、優れた人口動態と経済ファンダメンタルズの改善が、インド経済と株式市場双方に対し長期的な支援材料です。大規模で急成長を遂げている国内経済に連動する優良企業への長期投資機会がインドにあると考えています。運用者の短期投資はインドへの長期見通しと整合的です。私どもは、ボトムアップにより優良企業への長期投資を行って参ります。

### <SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

長期的な観点で、インド経済は、優れた人口動態、高い経済成長性により、強固な経済発展に支えられた優良企業の利益成長と株価上昇が期待されると考えています。新型コロナウイルスの大流行によりインド経済も大きな損害を被りました。今後ワクチン接種拡大により新型コロナウイルス大流行は収束する見込みです。米国の金融政策動向の新興国市場に与える影響に留意する必要がありますが、世界的な景気回復、インド国内の経済活動が正常化するなか、景気拡張を受けて連動して業績拡大の見込めるインドの優良企業への投資を継続して、リターンの獲得をめざしてまいります。

足許、ワクチン接種の進展、各国の景気刺激策により米国を中心に世界的に経済は正常化に向かっていきます。一方、景気拡張とともに、米国のテーパリング（量的金融緩和の縮小）が始まっており、インフレ上昇が懸念されております。今後、米国の金利上昇が新興国の経済および市場に与える影響に、より注意を払うべき段階に移っております。このように、米国はじめ先進国の政策動向とインド市場への影響は注視する必要があります。しかしながら、金融政策の正常化は、経済正常化を阻害しない範囲で行われるものと期待され、景気拡張は維持されると予想します。さらに、経済の発展期にあるインドの経済は、長期的持続的に高い成長を遂げると期待され、インド株式は有望な投資先と考えられます。

以上の見通しにより、インド株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、対純資産比率で70%前後の組入比率を目標として運用する方針です。

### <SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

ベトナム経済は他の東南アジア諸国に比べて、製造業の優れた集積地であること、輸出力の高さなど優れた経済ファンダメンタルズを有し、政局も安定しております。また、ワクチン接種の浸透による経済活動の正常化が期待されており、世界的な景気回復の恩恵を受ける有利な地位を占めていると考えます。今後とも、同市場の発展に連動した業績拡大の見込める企業に対する投資をおこなってまいります。

以上の見通しにより、当面は対純資産比率で20%台の組入比率で運用を行います。必要に応じて、銘柄入れ替えを行いながら運用する方針です。

※上記見通しと運用方針のうち、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」および「LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」については、それぞれ運用の再委託会社であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッド、LGM・インベストメンツ・リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳したものを記載しております。

## お知らせ

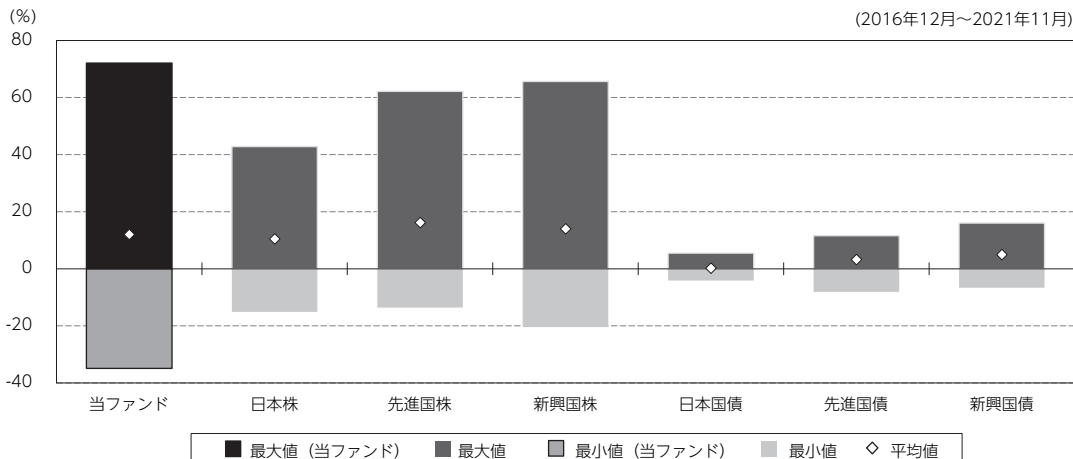
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限（クローズド期間はあります）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」受益証券（以下「マザーファンド」といいます。）を主要投資対象とします。
	L G M インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・ インド インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・ マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式（預託証券を含みます。）ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
当ファンドの 運用方法	各マザーファンドを通じて主にインド及びベトナムの株式に投資を行います。 マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。 ベトナム株への実質的な投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産において、原則為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時（毎年6月4日及び12月4日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として分配方針に基づき収益分配を行います。 分配対象額は、信託財産に属する配当等収益（配当金、利子及びこれらに類する収益から支払利息を控除した額をいいます。以下同じ。）とマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当収益」といいます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当収益を控除して得た額）との合計額から諸経費等を控除した金額の範囲とします。委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	72.1	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	△ 34.9	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 8.1	△ 6.6
平均値	12.0	10.4	16.1	14.0	0.2	3.2	5.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年12月から2021年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、P17の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2021年12月6日現在)

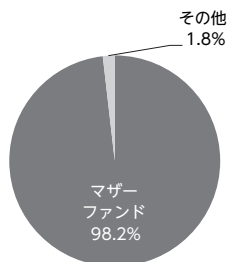
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第29期末
	%
LGM インド株・マザーファンド	33.1
ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド	32.3
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	22.0
SBIAM インド株・マザーファンド	10.7
組入銘柄数	4 銘柄

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

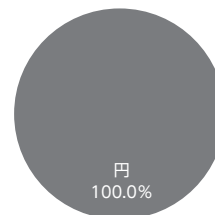
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第29期末
	2021年12月6日
純資産総額	10,660,290,840円
受益権総口数	7,679,728,876口
1万口当たり基準価額	13,881円

(注) 期中における追加設定元本額は953,424,761円、同解約元本額は831,555,594円です。

## 組入上位ファンドの概要

## ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】

(2020年6月5日～2021年6月4日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2020年6月5日～2021年6月4日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	10円 ( 10)	0.058% (0.058)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	10 ( 10)	0.055 (0.055)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	151 ( 21) (131)	0.852 (0.116) (0.736)
合 計	171	0.965

期中の平均基準価額は、17,761円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

(2021年6月4日現在)

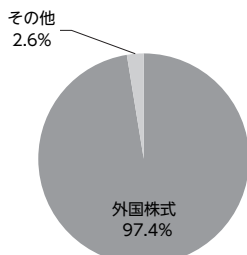
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	8.6
2	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	7.5
3	アクシス銀行	銀行	インド・ルピー	インド	5.5
4	インドステイト銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.8
5	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	4.7
6	ヒンドゥスタン・ユニリーバ	家庭用品・パーソナル用品	インド・ルピー	インド	3.7
7	タタ・コンサルタンシー・サービスズ	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	3.4
8	マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	インド・ルピー	インド	3.2
9	タタ・スチール	素材	インド・ルピー	インド	2.8
10	ヒンダルコ・インダストリーズ	素材	インド・ルピー	インド	2.5
	組入銘柄数			48銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

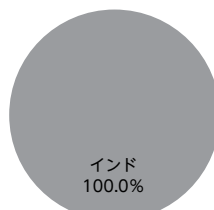
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

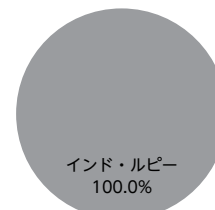
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2021年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

## LGM インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2020年6月5日～2021年6月4日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	4円 ( 4)	0.021% (0.021)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	6 ( 6)	0.034 (0.034)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	22 ( 19) ( 3)	0.131 (0.111) (0.019)
合 計	32	0.186

期中の平均基準価額は、17,150円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

(2021年6月4日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	6.6
2	HDFC銀行	銀行	インド・ルピー	インド	6.4
3	バジャジ・ファイナンス	各種金融	インド・ルピー	インド	6.0
4	ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.7
5	L&Tテクノロジー・サービスズ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	インド・ルピー	インド	4.3
6	HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	4.2
7	ピディライト・インダストリーズ	素材	インド・ルピー	インド	4.0
8	ネスレ・インド	食品・飲料・タバコ	インド・ルピー	インド	3.8
9	チタン	耐久消費財・アパレル	インド・ルピー	インド	3.8
10	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	3.8
	組入銘柄数		31銘柄		

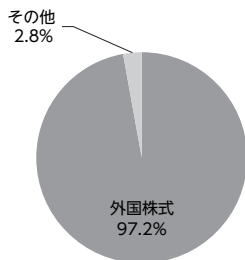
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

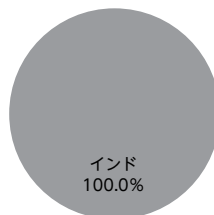
(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

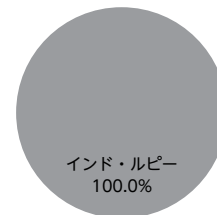
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2021年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

## SBIAM インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】

(2020年6月5日～2021年6月4日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2020年6月5日～2021年6月4日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	37円 ( 37)	0.315% (0.315)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	19 ( 19)	0.162 (0.162)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	180 ( 32) (149)	1.528 (0.268) (1.260)
合 計	236	2.005

期中の平均基準価額は、11,804円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

(2021年6月4日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	8.8%
2	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	8.6
3	HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	8.5
4	HDFC銀行	銀行	インド・ルピー	インド	8.4
5	I C I C I 銀行	銀行	インド・ルピー	インド	8.2
6	タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	6.0
7	コタック・マヒンドラ銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.3
8	ヒンドゥスタン・ユニリーバ	家庭用品・パーソナル用品	インド・ルピー	インド	3.9
9	アクシス銀行	銀行	インド・ルピー	インド	3.6
10	I T C	食品・飲料・タバコ	インド・ルピー	インド	3.3
組入銘柄数			30銘柄		

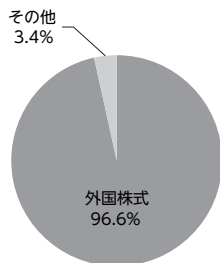
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

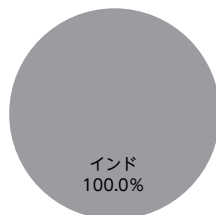
(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

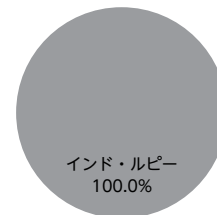
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2021年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。



## SBIAM ベトナム株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】

(2020年6月5日～2021年6月4日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2020年6月5日～2021年6月4日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	10円 (10)	0.090% (0.090)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.005 (0.005)
(c) その他費用 (保管費用)	11 (11)	0.101 (0.101)
合 計	22	0.196

期中の平均基準価額は、10,855円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

(2021年6月4日現在)

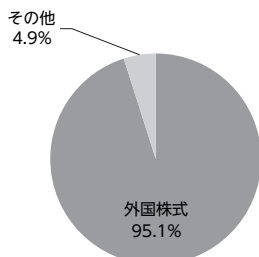
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ベトインバンク	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	8.6
2	ベトコムバンク	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	7.7
3	ビンホームズ	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	7.4
4	ホアファットグループ	素材	ベトナム・ドン	ベトナム	7.0
5	ピンググループ	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	6.8
6	VPバンク	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	5.5
7	ビンコム・リテール	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	5.5
8	サイゴンビール・アルコール	食品・飲料・タバコ	ベトナム・ドン	ベトナム	5.3
9	ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	ベトナム・ドン	ベトナム	5.2
10	ベトナム投資開発銀行	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	4.8
	組入銘柄数		23銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

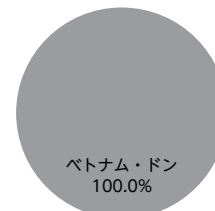
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2021年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。